

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 景観行政団体への移行	②施策番号	3203
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	7 景観の形成		
⑥担当部名	⑦担当課名		
市民生活環境部	環境整備課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民及び駐輪場利用者・自転車利用者等
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市内及び駅前の景観を創出する。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	鉄道駅までの交通手段として自転車を利用する市民は多い。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方
①	駅前放置自転車撤去台数	台	駅前や駐輪場内に放置された自転車を撤去することにより、周辺の景観保持や歩行者の通行の安全確保につなげるため。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	駅前放置自転車撤去台数	台	目標値				450	450	
			実績値	316	313	331	—	—	
			達成率						
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	違法屋外広告物除去事業	除去率	%	100	100	100	486	463	463	A	ア	
2	自転車置場管理事業	駅前放置自転車の台数	台	121	223	200	10,442	10,352	13,091	A	イ b	◎
3	放置自転車対策事業	放置自転車撤去台数	台	258	331	450	6,201	4,025	4,043	A	ア	○
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						17,129	14,840	17,597			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	駅前及び駅前の駐輪場を整理整頓することで、交通の利便性や景観の形成を図る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	自転車の撤去台数がほぼ横ばいである。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	自転車利用者が適正に駐輪場を利用することで、駅前の美観が保たれる。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	自転車利用者対策として、駐輪場の管理及び放置自転車対策は駅前の美観を保つ上で重要である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	鉄道駅までの交通手段として自転車を利用する市民が多いことから、今後も自転車関連事業は重要である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	放置自転車及び違法広告物の撤去により景観保持への取組が適切に行われている。 駐輪場の適正配置、受益者負担の適正化に照らし有料化を進めていく。課題は利用料の設定。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	4駅駐輪場の有料化計画の策定を行い、議会・市民に説明し、可能なところから進める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	全駅の駐輪場有料化の実施。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	放置自転車や違法広告物の撤去による景観保持への取組が適切に行われている。 駐輪場の適正配置と受益者負担の適正化について検討を進められたい。	